

ひろば 大代

No.507

令和3年10月号

大田市の人口	(R3.10.1 現在)
大田市	33,383 人
内大代町	320 人
男	145 人
女	175 人

大田市立第三中学校

柔道部設立!

大代駐在所 花本拓

「三中に柔道部ができるんだってさ。」

この知らせを聞いたときに私は本当に心の底から喜びました。もしかすると生徒たちよりも嬉しかったかもしれない。なぜなら、私自身が中学校時代に学校に柔道部が無く、3年間柔道から離れていたからです。

私は大田警察署に赴任してきてから、大森町にある銀山柔道教室でも指導しています。赴任時に生徒がたったの3人だった教室も今では13人となり、道場が狭く感じるくらいになりました。大田三中柔道部に今春から入部した新一年生の生徒は3人であり、みんな私が銀山柔道教室の時から指導してきた生徒たちです。

私はこの度の柔道部設立に伴い、新たに外部指導者の委嘱を受け、銀山柔道教室と三中柔道部の二足のわらじを履き、柔道漬けの毎日に体が幸せな悲鳴を上げています。彼らの思いが三中の校長先生を始めとする、多くの大人の心を動かし、実現されました。

私が柔道を指導するとき心がけていることは、「柔道はひとりではできない。相手がいるからできる。指導してくれる先生がいるからできる。柔道ができる道場があるからできる。柔道着を買ってくれたり、送迎をしてくれたり、応援をしてくれる家族がいるからできる。だから、すべてのことに感謝の気持ちを持って柔道をしなさい。」ということ です。

柔道を修行し、多くの物や人に感謝の気持ちを持てるような大人になってもらい、そして「いつか柔道で鍛えた心と身体を世のため人のために役に立させてもらいたい」と切に願っています。これが私なりに思う、精力善用・自他共栄です。



この思いを絶やすことなく、彼らがまたいつか柔道を指導する側になったときや、社会人になったときに生徒や後輩たちにも伝えていってほしいです。

あとどれだけの期間彼らと一緒にいられるか分かりませんが、ともに成長していきたいと思えます。

敬老会中止にあたって

大代地区社会福祉協議会

会長 高村清



朝夕には寒さを感じ、一方、日中は晴天で暑い日が続いています。今年のはで干しの稲は、近年ではとても乾燥状態が良かったです。以前は、秋の彼岸頃から炬燵の出動時期が始まったと記憶しています。これも温暖化の影響と感ぜられます。温暖化理論の関係では、今年のノーベル物理学賞を日本人の真鍋淑郎博士が受賞(1967年(昭和42年)に発表した論文で、二酸化炭素の濃度と大気の温度の関係を高い精度で計算)され、日本人の一人として

喜ばしい限りです。私は当時16歳で、温暖化という言葉も知らず、全く考えも及ばない概念（現在では地球の将来に大きな影響を及ぼす。）で、今回の受賞には驚きでした。

さて、標題につき、昨年と同様、新型コロナウイルス感染症の影響で敬老会中止を余儀なく決めさせて頂きました。敬老の日のご祝福をさせて頂こうと、対象者全員（75歳以上で大代町に住所のある方）に、些少ではありますが「記念品」、喜寿・米寿の方には「お祝い品」も、併せて、「大代町在住の高山小学校児童の皆様からの笑顔の写真付きメッセージ」を贈呈させて頂きました。本紙面をお借りして、小学生及びご家族の皆様にお礼申し上げます。

現在に至っても、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっています。市内のワクチン2回目接種率（10/3現在、65歳以上91.1%・12〜64歳63.8%）は非常に進んでいます。しかし、新たな変異株の多数発生や、2回目接種以後であってもブレークスルー感染



（ワクチン接種完了後に感染）と言われるものもあり、また、都市部での緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の解除での解放感に決して気を緩めず、これまで通りの感染予防の必要性が求められています。今後、飲み薬等も開発されるようですので、早い時期の何らかの通常社会生活の復帰を待ち望む限りです。

ここで、上記の状況下の活動について、下記①②について、大代地区社協委員としては暗中模索のため、皆様にお知恵（活動案等提示）を拝借させて頂きたく思いますので、その方法・意見等お寄せください。よろしくお願います。

記



① 来年の敬老会開催にあたり、新型コロナウイルス感染症の余波はある程度残ると想定したうえで実施の在り方（注意点、例えば送迎・会場内の予防策等）。

② コロナ禍の人の集まりの制限の中、大代地区社協としてどのような活動ができるのか、また、どのようにしていけばよいのか。（記事は10月9日現在）

追憶

上飯谷 原田守男

今年も残り2カ月となりました。大代町で生まれ育って早や73歳となり「光陰矢の如し」と言う言葉がありますように、私も齢を重ねよく今まで大病もせず今日まで生かされて来た自分でも感心しています。

年を重ねれば、昔の事はよく思い出すと言われますが私もその年となり、ふと小学校4、5年生の頃の事を思い出しました。大代小学校、中学校を卒業され、高校も卒業され就職し給料の一部を一年に一度小学校へ送ってこれれ学校の為に何か役立てて下さい、と送金されていた女性の事です。そのお金で備品として傘（番傘）を購入、忘れて来た子供たちに貸し出されました。今思うと有難い事でした。

遅まきながら今私は「大代町えびすの会」の送迎ボランティアの運転手を週1回木曜日にしています。

今年6月の社協だよりにおだに大田市も高齢化とな



り「リフト付き自動車」の運転手のボランティアを募集していたので早速応募手続きをしました。

社協のリフト付き自動車活用方法については社協の了解を得て掲載します。

リフト付き自動車は利用者の社会参加を促進し、通院、買い物などの外出支援を行うものです。

● 利用対象者

- ① 大田市内の在宅で生活する人。
- ② 外出する時には、車椅子を使用する人。

③ リフト付き自動車運行事業の利用会員登録した人。車椅子を使用し、一般の交通手段を利用することが困難な人。利用を希望する場合は、事前に利用会員登録をする。

● 運行内容

- ① 利用時間 原則として9時から16時まで（土、日、祝祭日、年末年始を除く）
- ② 運行範囲 原則として大田市内。（社協会長が必要と認めた場合は、この限りではない）

③ 利用方法 事前に利用会員登録が必要。利用は予約制としている。予約期

間は利用一ヶ月前から5日前とする。

④ 利用料 無料。ただし、有料駐車場代などは実費負担。

⑤ 利用回数 一ヶ月に3回まで。

● その他 同乗する介助者が必要。

社協ではこの事業に協力頂けるボランティアを募集しています。詳細は大田市社会福祉協議会（TEL 0854・82・0091）までお問い合わせください。以上、地区社協からひろば大代の紙面を借りてお知らせします。私も後3年、5年、いや10年は無理かもしれませんが。歳を取るとそろそろ終活の事も考えねばなりません。そんな事も考えながら一日一日を過ごしています。

大代に来てよかった！インターンシップでお世話になりました

島根大学3年生

幸田有生



私は9月6日から5日間大田市役所のインターンシップに参加し、9月7日現在、まちづくり定住課でまちづくりと定住政策について学んでいます。

9月7日に大代まちづくりセンターを訪れ、佐藤センター長さんから大代のまちづくりについてお話を聞かせていただきました。

私は大田市出身ですが、今回大代に行くまで、大代を訪れたことがなく、初めての訪問でした。佐藤センター長さんからまちづくりセンターで行われていることについてお話をしていただけ、ホームページで、この「ひろば大代」の過去の記事が見られるようになっていて、柚子胡椒やメンマを作っておられることを知りました。その中でも、大代地区がホームページを運営され、

どうすればよいのか試行錯誤されながら作っておられるという大変驚きました。また、過去の「ひろば大代」の記事



